

新任期スタート！古い体質の県議会を変える！



多くの皆様方の温かいご支持ご声援に感激

当	鈴木正人	13,348票
2位	相手候補	8,417票

これではまるで、いつも批判している国会の民主党のような揚げ足取りの動きを自民党県議団がやっている訳です。それも、長老支配で誰もそのやり方に文句も表立って言えずに従っておりの結果が、あの幻の陛下の主治医を無理やり擁立しようとした迷走劇などを引き起こしたんでしょう。そこには、県民の為に現職知事よりも

志正会ご入会のお願い
健全な民主主義のためのカンパです。

振込先 埼玉りそな銀行
志木支店 3685707
(普通) 志正会 鈴木正人まで

1口
年間千円より
何口でもOK!!

※大変お手数ですが
カンパいただいた方は
事務所宛までご一報いただければ幸いです。
Tel 048-476-7525
FAX 048-476-7526

メールアドレス yawaraka4354@indigo.plala.or.jp

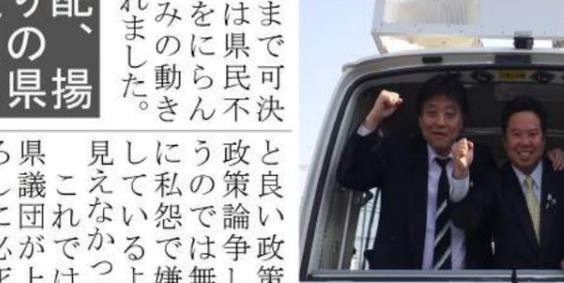
統一地方選挙では多くの皆様からご声援をいただき、結果も予想以上に期待の思いをいただいたまま、本日に感激いたしました。何と御礼申し上げたいという気持ちで一杯ですが、選挙後御礼は公職選挙法により禁止されていますので、ご理解のうえ、ご迷惑をさすことのないよう、引き続きご声援をいただきますようお願いいたします。

解くべき。お陰様で、再び県議会の場で地元発展の為に仕事をさせてください。引き続き、よろしくお願いいたします。

知事が多選自粛条例を何故守れなかったのかという事を自民党議団の全員が聞き、揚げ足取りのよう質問の数々、挙句の果てには数の力

毎回の一般質問で、知事が多選自粛条例を何故守れなかったのかという事を自民党議団の全員が聞き、揚げ足取りのよう質問の数々、挙句の果てには数の力

激戦の思い出 多くの応援をいただきました



と良い政策を出し、政策論争しようと言うのでは無く、まさに私怨で嫌がらせをしていくようにしか見えなかったですね。これでは自民党の県議団が上田知事おりに必死になつても、自民党本部が同調しないのかわかる気がいたしました。

市議会議員から議員になられた新人議員さん達も、この古い長老支配の県議会に呆れております。私たちは生みの苦しみを味わいながら、県民党の立場でも、古い埼玉県議会の体質を変えるべく、議会改革の提案をどんどんしてまいります。

やまわらめか新聞

第85号

発行者
無所属県民会議
県議会議員鈴木正人
〒353-0002
志木市中宗岡1-1-2
TEL048-476-7525
FAX048-476-7526

県政レポート2015 No.85 地盤・看板・カバンゼロからスタートした 庶民派
雑草魂で信念を貫き、世の中を変える！ 埼玉県議会議員 無所属県民会議

鈴木正人

ホームページ <http://www.trans.ne.jp/masato/>

平成27年度・6月定例会を振り返って

平成27年度6月定例会は7月10日に、2019年ラグビーワールドカップの開催自治体負担金など5275万円の一般会計補正予算案など20議案を可決しました。

新しく立ち上げた私の所属する会派「無所属県民会議」からは、議員の交通費などにあたる「費用弁償」の支給を、現状の定額から実費（実際にかかった交通費）に変更する条例改正を提案しました。

全国の都道府県議会や県内の市町村議会でも実費支給への切り替えや廃止が進められております。埼玉県議会でも実現すれば、試算で約年間3,900万円の削減効果があります。

今回複数の会派から賛同を頂きましたが、残念ながら多数に至らず「継続審査」として、本会議場での議論や採決が見送られました。しかし、無所属県民会議は1日6,100～10,200円の定額支給から引き続き実費支給実現に向け、訴え続けてまいります。



埼玉新聞に新会派「無所属県民会議」の代表として抱負を語る

私どもは統一地方選挙を経て、保守系無所属の皆さんと共に10名のメンバーで「無所属県民会議」という会派を立ち上げました。

今回の県議会議員選挙でも、残念ながら相変わらずの低投票率でした。

やはり埼玉県政そのものが、



無所属県民会議 鈴木正人 代表

いわゆる「中一階」と呼ばれるような中途半端で見えにくい存在であると実感しております。

私どもは自らの反省も含め、遠い存在に甘んじる事なく、特に県民から見えにくいご指摘を受ける県議会そのものの情報公開を進め、県政を身近に感じていただく努力を一層進めてまいります。

私たちがこうした新人の皆さんの声もしっかり受け止め、議会が密室で県民の常識から離れていかないよう、まずは自ら襟を正す改革を進めて行くべきだと考えております。

まずは自ら襟を正す事

県議会議員選挙では、市議会議員を経験されたから初当選された方々も多くいらっしゃいますが、市議会に比べて県議会の情報公開の遅れなどのご指摘をいただいております。

例えば議会広報を見ても、誰がどの質問をしたのかすら分からない状況や、交通費としての位置付けでありながら、1日6千円～1万2千円もいただく費用弁償についても県民の理解が得にくいなどあります。



意見書は6件可決いたしました。

- ・警察官の増員を求める意見書
- ・サイバーセキュリティ対策の強化を求める意見書
- ・地方財源の確保と地方分権の更なる推進を求める意見書
- ・諸外国等による農林水産物・食品の輸入規制の早期撤廃を求める意見書
- ・入院中の重度障害者等への支援充実を求める意見書
- ・認知症への取組の充実強化を求める意見書

▼以下の決議は可決されましたが、知事選前の県民不在の党利党略だとして反対いたしました。

- ・「埼玉県知事の在任期間に関する条例」の遵守又は適正な手続を求める決議
- ・上田清司知事に対する問責決議